報告様式（質問紙版）

※青字は説明

【表題】

質問紙で調査した東京都の児童生徒の身体活動（調査名があれば入れる）

Questionnaire-assessed physical activity among elementary, junior high, and high schoolers in Tokyo（英語のタイトルも必須）

【著者名】

石井香織1)，柴田愛2), 岡浩一朗1)

Kaori Ishii1), Ai Shibata2), Koichiro Oka1)

【所属機関名】

1. 早稲田大学スポーツ科学学術院

Faculty of Sport Sciences, Waseda University

1. 筑波大学体育系

Faculty of Health and Sport Sciences, University of Tsukuba

【連絡先】

石井香織 (Kaori Ishii)

〒359-1192　埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15   
2-579-15 Mikajima, Tokorozawa-shi, Saitama, 359-1192, Japan

Phone: 04-2947-7189

Fax: 04-2947-7189

E-mail: [ishiikaori@waseda.jp](mailto:ishiikaori@waseda.jp)

【論文の種類】その他（統計資料）

特集「日本人の身体活動・座位行動の実態」の一環で投稿している。

【文字数】648文字　※字数を記入してください。

【図表の数】図1点，表3点

Figure 1：対象者のフロー（※必須）

Table 1：対象者の特性（男女別）（※必須）

Table 2a：各基準の充足者（男女別）（※必須）

Table 2b：各基準の充足者（男女別，年代別）

Table 3a：身体活動・座位行動の記述（男女別）（※必須）

Table 3b：身体活動・座位行動の記述（男性，年代別）

Table 3c：身体活動・座位行動の記述（女性，年代別）

※Table b・cは年代で層化した分析が可能な場合のみ作成する。

※編集の都合上、一部の図表がappendixとなる可能性があります。

【ORCID iD】

石井香織 0000-0002-8077-4895

柴田愛 0000-0002-0241-3103

岡浩一朗 0000-0001-5571-042X

1. 調査名

特になし※調査名をつけることができない場合には，「特になし」との記載とする。

1. 調査場所

東京都

1. 調査時期

2014年11月～12月

1. 調査対象・データ収集

東京都の公立小学校16校，中学校11校，高等学校6校に通う児童・生徒3,612名（小学4年生全1,101名，中学1年生全1,320名，高校1年生全1,191名）を対象とし，郵送法にて各対象校に配布，担当の教職員から手渡しで配布した。対象校の選定は，東京都の全公立小学校(1,296校)，中学校(623校)，高等学校(188校)に調査協力を依頼し，研究協力を申し出た学校を対象とした。3,478名が質問紙調査に回答した。

※対象者の代表性がわかるようにサンプリング方法を記載する。

※年代区分は「児童」「生徒」の範囲内を基本とする。ただし、サンプルサイズが十分であれば、「児童（低学年）」「児童（高学年）」「生徒（中学生）」「生徒（高校生）」で層化した結果も示す。

1. 解析対象者
2. 性別：男女
3. 年齢：小学校4年生（9-10歳），中学校1年生（12-13歳），高校1年生（15-16歳）
4. 分析対象者数：3,326名（男子1,615名，女子1,711名）
5. 身体活動・座位行動の評価（質問紙）
6. 使用した質問紙：「WHO Health Behaviour in School-aged Children (HBSC) 青少年健康行動質問票（HBSC日本語版）（HBSC-J）」1)
7. 評価する場面（ドメイン）：すべての中等度以上の身体活動
8. 継続時間（バウト）：指定なし。
9. 思い出し期間：最近の7日間。
10. 欠損値・外れ値等の処理：無回答の場合，欠損値とした。なお，本尺度は60分以上の中高強度身体活動を週あたり何日実施しているのかについて，「0日」～「7日」までの選択肢の中から1つ選択する質問であった。そのため，過少報告，過大報告が疑われる外れ値の報告等はなかった。
11. メッツ（強度）の割り当て：該当なし。
12. 倫理委員会

本調査は，早稲田大学人を対象とする研究に関する倫理委員会の承認を得て実施している（承認番号：2013-013）。

※倫理審査の承認を受けた研究であるかを確認してください。

1. 備考

※本調査の特徴、強調点、限界点、研究資金等を記載する。

※記載する必要がない場合は空欄。

1. 当該調査による主要な論文

※投稿原稿の雛形に合わせて表記してください。

* Ishii K, Shibata A, Adachi M, et al. Objectively measured sedentary behavior, obesity, and psychological well-being: a cross-sectional study of Japanese schoolchildren. J Phys Act Health. 2017; 14: 270-274. doi: 10.1123/jpah.2016-0374.
* 石井香織, 高橋亮平, 青柳健隆, 他. 休み時間の用具提供による小学校児童の身体活動推進の効果. 日本健康教育学雑誌. 2015; 23: 299-306. doi: 10.11260/kenkokyoiku.23.299.
* Ishii K, Shibata A, Adachi M, et al. School grade and sex differences in domain-specific sedentary behaviors among Japanese elementary school children: a cross-sectional study. BMC Public Health. 2017; 17: 318. doi: 10.1186/s12889-017-4221-z.

文献

1. 田中千晶, 喜屋武享, 高倉実, 他. WHO Health Behaviour in School-aged Children (HBSC) surveyの身体活動量に関する質問票の日本語版の妥当性. 運動疫学研究. 2017; 19: 93-101. doi: 10.24804/ree.19.93.

Figure 1. Participant’s flow (例)

A total of 3,612 participants (16 elementary schools, 11 junior high schools, and 6 high schools) were invited to the survey in 2014

All public elementary school, junior high school, and high school in Tokyo were recruited in 2014

Excluded: no response (n=134)

Excluded: missing data (n=152)

3,326 participants were analyzed in this study

3,478/3,612 participants (96.3%) returned the questionnaire in 2014